

広域防災拠点の機能と必要な要件に関する論点

論 点

- 1 広域防災拠点の機能は、 救援物資の中継・分配機能、 広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能、 海外からの支援物資・人員の受入れ機能、 災害医療支援機能、 物資等の備蓄機能が考えられるが、付け加えるべき機能、又は、不要な機能はあるか。

救援物資の中継・分配機能

大規模地震災害等が発生した場合においては、被災地域外から被災地域内への救援物資(水、食糧、医薬品、応急復旧資機材等)の中継輸送、集積、荷さばき、分配等を行う必要が生じることから、各種交通基盤(陸・海・空等)と連携した緊急物資の中継・分配機能が必要である。

広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能

大規模地震災害等の発生直後から全国より参集する広域支援部隊や救護班、NPO・ボランティア等の一次集結、宿泊、連絡等を行うことができる機能が必要である。

海外からの支援物資・人員の受入れ機能

大規模地震災害等が発生した場合、国内のみならず国外からも多くの物資・人員の支援が寄せられることが想定される。海外からの支援物資・支援人員(NPO、ボランティアも含む)の受入れについては、税関、検疫、入国手続き等が必要であることから、これらの諸手続きを行うための機能が必要である。

災害医療支援機能

特に緊急な対応を要する災害医療については、被災地域外から医薬品や医療用資機材・設備が輸送されるまでの間であっても対応できるよう、被災地域内の医療活動を支援するための医薬品、医療用資機材・設備の提供、後方医療機関に重篤者を搬送するためのヘリコプター及びヘリポートの確保等が必要である。

物資等の備蓄機能

被災地域外からの救援物資が輸送されるまでの間であっても救援を実施し、かつ初動段階において迅速に総合調整や要員の活動等を支援するため、水、食糧、医薬品、応急復旧用資機材等を備蓄できる機能が必要である(必要に応じ地域の被災者のための備蓄も行う)。

2 広域防災拠点の機能から導かれる必要な要件は、以下が考えられるが、付け加えるべき要件、又は、不要な要件はあるか。

救援物資の中継・分配機能

被災地域外から被災地域内への物資輸送の中継地点となるよう、陸・海・空等の各種交通基盤との連携を確保する。

複数の交通手段の活用が可能となるようにする（交通のリダンダンシーの確保）

被災地域外から搬入される大量の物資の集積、荷さばき、分配等が可能なスペース及び大量の車両等の滞留スペース等を確保する。

電気、水、トイレ、情報・通信設備等を確保する。

各方面からのアクセスを考え、方面別などに分散する。

広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能

全国各地からの要員の集結に支障を来さないよう交通基盤との連携を図る。

電気、水、トイレ、情報・通信設備等を確保する。

テント等の設営が可能な十分なスペースを確保する。

発災直後においては各地からの大量のNPO・ボランティア等を被災地域が直接受け入れることにより、被災地域に過剰な負担や混乱が生じる恐れもあることから、受付窓口の設置や関係機関との情報の共有化を図ることができるようにする。

広域支援部隊の特性や活動内容にも配慮する。

海外からの支援物資・人員の受入れ機能

救援物資の中継・分配機能や広域支援部隊のベースキャンプ機能等を持つ広域防災拠点との連携・調整が可能となるようにする。

救援物資等については、手続きの簡素化・円滑化及び被災地域外から被災地域内への輸送を考慮する。

支援要員については、被災地域等に係る情報の提供、移動手段、宿泊場所、現地通訳等の確保が必要であるため、領事館等との連携も考慮する。

災害医療支援機能

搬送用ヘリコプターや救護班等の派遣のための情報共有化を可能にする情報・通信設備を確保する。

医薬品、医療用資機材・設備等の備蓄が可能となるようにする。

緊急時におけるヘリコプターの離発着が可能なスペースや施設を確保する。

災害拠点病院や後方医療機関との連携を確保する。

物資等の備蓄機能

備蓄物資・資機材等を迅速に被災地域等へ輸送することが可能となるよう、救援物資の中継・分配機能、災害医療支援機能等と一体的に組み合わせる。

参考 京阪神都市圏における広域防災拠点の機能と必要な要件等

資料：「京阪神都市圏広域防災拠点整備基本構想」（平成15年6月20日、京阪神都市圏広域防災拠点整備検討委員会）より抜粋整理

【広域防災拠点の役割】

広域的な災害対策活動が円滑かつ効率的に行われるためには、様々な広域的な活動の拠点となる広域防災拠点が必要である。これら広域防災拠点は、主として人やモノの流れを扱う拠点となり、基幹的広域防災拠点や地域防災拠点と情報を共有し、相互に連携することにより、広域的な災害対策活動の展開上、非常に重要な役割を果たすものである。

広域防災拠点は、救援物資の広域輸送、備蓄、広域支援部隊のベースキャンプ、災害医療支援等、主としてヒトやモノの広域的な流れを扱う拠点であり、イ 救援物資の中継・分配機能、ロ 広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能、ハ 海外からの救援物資・人員の受入れ機能、ニ 災害医療支援機能、ホ 物資等の備蓄機能、の全て又は一部を有する拠点である。また、平常時には、住民の憩いの場などとして有効に利活用されることが望ましい。

【広域防災拠点の機能と必要な要件】

イ 救援物資の中継・分配機能

被災地域外から被災地域内への救援物資の中継輸送、集積、荷さばき、分配等を行う、各種交通基盤のネットワークと連携した救援物資の中継・分配機能。

[必要な要件]

被災地域外から被災地域内への物資輸送の中継地点となるよう、陸・海・空・水の各交通基盤との連携を確保する。

複数の交通手段の活用が可能となるようにする（交通のリダンダンシーの確保）。

被災地域外からの大量の物資の集積、荷さばき、分配等が可能なスペース、大量の車両等の滞留スペース等を確保する。

電気、水、トイレ、情報・通信設備等を確保する。

各方面からのアクセスを考え、方面別などに分散する。

ロ 広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能

全国から大量に集結する広域支援部隊（警察、消防、自衛隊等）や救護班、国内外からのNPO・ボランティア等の活動要員の一次集結、宿泊、連絡等を行うことができるベースキャンプ機能。

[必要な要件]

全国各地からの要員の集結に支障を来さないよう交通基盤との連携を図る。

電気、水、トイレ、情報・通信設備等を確保する。

テント等の設営が可能な十分なスペースを確保する。

発災直後においては各地からの大量のNPO・ボランティア等を被災地域が直接受け入れることにより、被災地域に過剰な負担や混乱を生じることあることから、受付窓口の設置や関係機関との情報の共有化を図ることができるようにする。

広域支援部隊の種類や活動内容にも配慮する。

八 海外からの救援物資・人員の受入れ機能

税関、検疫、入国手続き等を迅速に行うことができるワンストップサービス等、海外からの救援物資・人員の受入れ機能。

[必要な要件]

救援物資の中継・分配機能や広域支援部隊のベースキャンプ機能等を持つ広域防災拠点との連携・調整が可能となるようにする。

救援物資等については、手続きの簡素化・円滑化及び被災地域外から被災地域内への輸送を考慮する。

支援要員については、被災地域等に係る情報の提供、移動手段、宿泊場所、現地通訳等の確保が必要であるため、領事館等との連携も考慮する。

二 災害医療支援機能

災害時医療の補完・支援機能（医薬品、医療用資機材・設備の提供等の支援、搬送用ヘリコプターの確保・運用等）。

[必要な要件]

搬送用ヘリコプターや救護班等の派遣のための情報共有化を可能にする情報・通信設備を確保する。

医薬品、医療用資機材・設備の備蓄が可能となるようにする。

緊急時におけるヘリコプターの離発着が可能なスペースや施設を確保する。

災害拠点病院や後方医療機関との連携を確保する。

ホ 物資等の備蓄機能

当該広域防災拠点を使用する活動要員用の水、食糧、医薬品、応急復旧用資機材等の備蓄機能（必要に応じ地域の被災者のための備蓄も行う）。

[必要な要件]

救援物資の中継・分配機能、災害医療支援機能等と一体的に組み合わせる。